

富山まちなか病院医療情報システム等更新事業に係る質問回答

No.	該当資料	質問	回答
1	仕様書 P.7 [図表5]部門システム 設置場所別設置台数	健診部門システムの台数が3台と記載されているが、現状は電子カルテ端末5台に健診システムをインストールして利用されている。次期システムでも利用台数は5台の提案でよいか。	健診システムの利用台数は、現行同様5台とし、電子カルテ用端末にインストールすることとする。
2	仕様書P.8 (3) 医療DXの推進	「当院ではオンライン資格確認システムは稼働しているが…」と記載されているが、将来的にオンライン資格確認システム、及び、電子処方箋のシステム対応を実施することでよいか。	要求仕様>1 共通事項>(2) 拡張性・柔軟性>ウ(仕様書P13)に、「※電子処方箋・電子カルテ情報共有サービスとの連携を進めるために、標準規格に準拠していること。(令和5年度中に仕様が確定しているものは、実装までを本調達に含めること)」と明示していることから、オンライン資格確認システム、電子処方箋ともに本調達に含める。
3	仕様書 P.11 [図表6]システム構成図	健診部門システム(⑤)と電子カルテシステム(①)とは、次期システムにおける連携は必須か。	検体検査結果は検査部門システムから連携され、検査依頼は検査部門システムから連携されているため、健診部門システムと電子カルテシステムとの連携は必須ではない。
4	仕様書P.13 (2) 拡張性・柔軟性	「将来的な病床・病棟及び診療科等の再編がある場合、保守業務の範囲内で対応できること。」と記載されているが、内容によってはシステムへの影響が大きいケースがある。この場合の対応については病院様と協議のうえ、有償対応を含め決定することでよいか。	システムへの影響が大きい場合は、その理由や対応方法を説明いただいたうえで、標準対応が難しいと判断できる部分において、有償対応とすることを想定している。
5	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「ア. システム・ソフトウェア、アプリケーション・ソフトウェア及びハードウェア製品は、少なくとも6年間はメーカーサポートが受けられる製品及びバージョンであること。」のうち、パソコン(ハードウェア)サポートに関し、5年間のサポート及び6年目以降は部品がある限り対応すると読み替えて対応することとしてよいか。	ハードウェアについては、お見込みの通り。
6	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「イ. 複数の独立したハードウェアからなる冗長した構成であること。」とは、サーバハードディスクのRAID構成を提案することとしてよいか。	信頼性・可用性が担保できれば、RAID構成でも問題ない。

No.	該当資料	質問	回答
7	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「イ、計画停止を除き、24時間365日の安定した連続運用が可能であること（災害、停電、計画停止を除き、稼働率99.99%以上であること。）本要求を満たすため、ハードウェアの障害が発生した際であっても、短時間で運用が再開できるよう、複数の独立したハードウェアからなる冗長した構成であること。」とは、電子カルテシステム及び医事会計システムのみが対象であると理解しているが、この認識でよいか。	お見込みの通り。
8	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	診療報酬改定等において、データベースレイアウトの修正が発生する可能性がある。この場合は緊急時と同様の対応としてよいか。	データベースレイアウトの変更等、システム停止が必要な作業については、緊急時と同様の対応として差し支えない。
9	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「ESETを導入することとし、」とあるが、ESETのライセンスは発注者より提供される（提案限度額に含まない）認識でよいか。また、インストール作業に際し、導入手順書は提供されるか。	ESETに係るライセンス費用は本件提案費用（240,000千円）に含む。 インストール作業に係る導入手順は提供する。
10	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「キ、オンプレミス型の場合は、すべてのシステムにおいて、書き換えができない仕組み（LTO等）で市民病院に遠隔バックアップすること。」について、市民病院への接続インフラは発注者から提供される認識でよいか。	ネットワークについては、既存環境を設定変更し利用する予定である。なお、既存環境の設定変更は本件の調達範囲には含まない。ただし、市民病院側でのバックアップにかかる費用（ハード・ソフト等）は、本件提案費用（240,000千円）に含むこととする。
11	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「キ、オンプレミス型の場合は、すべてのシステムにおいて、書き換えができない仕組み（LTO等）で市民病院に遠隔バックアップすること。」について、各システムのバックアップ容量はどの程度を想定すればよいか。	令和4年8月時点におけるサーバのHDD使用状況は以下のとおりである。 【電子カルテ】 ①約70GB（機能：DB、AD、DFS〔運用系〕） ②約120GB（機能：DB、AD、DFS〔待機系〕、サーバ系ウイルス対策） ③約120GB（機能：IF、共有フォルダ、資源管理、ウイルス対策） 【医事会計】 ①40GB（機能：DB、資源管理） ②120GB（機能：IF） 【健診】 ①約115GB 【看護勤務管理】 ①約10GB 【栄養管理】 ①30GB 【検査部門】 ①約360GB 【薬剤部門】 ①約70GB

No.	該当資料	質問	回答
12	仕様書 P.13 (3) 信頼性・可用性	「ク、バックアップのスケジュールは、原則として当日午後10時から翌日午前5時までには実行処理が正常に完了すること。」について、バックアップデータの容量が大きい場合、時間内にデータ転送及びバックアップ処理が完了しない可能性がある。この場合、バックアップスケジュールについて発注者との協議事項という認識でよいか。	差分バックアップ（バックアップ方法）やスケジュール調整など、協議することで問題ない。
13	仕様書 P.14 (4) 機密性・完全性	「イ、令和9年度までには、利用者の個人識別・認証の際の二要素認証に対応できること」と記載されているが、二要素認証機能に対応可能なパッケージを提案するという認識でよいか。 ※機能の実装に要する費用は提案限度額に含まないという認識でよいか。	二要素認証に対応可能なパッケージを提案することを要件とする。 機能の実装に係る費用については、本件提案限度額に含めない。
14	仕様書P.15 ハードウェア	ハードウェア全般の記載について、部門システムも対象としているか。	お見込みの通り。
15	仕様書P.15 ハードウェア	「ク、サーバラック内にマウントするサーバやストレージ、ネットワーク装置及び無停電電源装置等は、電源ユニットを二重化すること。また、電源に異常が生じた際には、5分以上電源供給可能な無停電電源装置を有すること。サーバがシャットダウンに掛かる時間を考慮し、停電時は、2分後にシャットダウンを開始するよう設定すること。」について、検体検査システムサーバ及び栄養部門サーバはタワー型という認識でよいか。	基本的にサーバラックでの運用を想定しているが、サーバ室のスペースの問題から収まらないと判断できる場合は、タワー型でも問題ない。
16	仕様書P.16 ソフトウェア	ソフトウェア全般の記載について、部門システム専用PCも対象範囲に含まれるか。	部門システム専用PCも対象範囲に含む。
17	提案書作成要領P2 2-(10)導入に要する費用及び「プロポーザルの実施に係る提案書の募集について」P.6 6 その他- (5)	「※システムの稼働に必要なとなるハードウェア、ソフトウェア、構築作業等に係る費用・・・」と記載されている。 併せて、医療情報システム等更新事業仕様書5.調達範囲(2)端末P12に端末一覧の記載がある。 一方、提案書の募集について、6その他(5)「クライアント端末及びプリンタ等の周辺機器の仕様や台数は受託候補者の提案を基に当病院事業局との協議を踏まえて決定し、その納入業者は別途指名競争入札を執行して決定する。」と記載があるが、クライアント端末及び周辺機器、付随するライセンス等に要する費用は提案限度額に含まないという認識でよいか。	すべて、本件提案費用（240,000千円）に含む。 そのうち、ハードウェア分（サーバ、クライアント端末及び周辺機器、付随するライセンス等含む）については、本案件の受託候補者と詳細を協議の上、別途調達することを想定している。 ※サーバとアプリケーションがオールインワンサービス等の提案である場合は、その分のハードウェアについては、本件で調達することとする。

No.	該当資料	質問	回答
19	その他	サーバ室内に設置されている「synapse」と記載されているラック（入口から1番目）は、新サーバラック搬入までに発注者側で撤去可能か。	新サーバラック搬入時までに撤去予定である。
20	その他	新システム向けに新設するサーバラック2本について、現在のサーバ室ではスペースが足りず設置が不可と思われるため、パーティションを撤去することは可能か。可能な場合、撤去作業は発注者手配という認識でよいか。	サーバ室のパーティションについては、当院において撤去する。
21	その他	入口に設置されている入室認証機器の扱いはどうする予定か。	サーバ室入口に設置している入退室認証機は、当院において更新する。
22	その他	サーバ室の電源工事（電源容量補強や電源コンセント増など）が必要となる場合、発注者側での作業という認識でよいか。	サーバの電源工事については当院にて実施する。
23	その他	サーバ室に設置されているネットワーク機器ラック（入口から3番目）について、現在のところ、新システム向けの新たなネットワーク機器を設置するスペースがない。現在使用中のネットワーク機器と入れ替える予定か。あるいは、新たなラックを設置するのか。	「synapse」と記載されているラック撤去とパーティション撤去により、32Uのラックを2本設置できると考えている。 最終的には、現在使用中のネットワーク機器の入れ替えを想定しているが、切替方法は、ネットワーク構築業者と協議し決定する予定である。
24	その他	導入期間中、新旧システムのサーバをサーバ室内に併設することになる。サーバが正常に稼働するよう、サーバ室内の温度は病院様にて適切に管理され、必要に応じて空調設備増強などの工事を発注者にて実施される認識でよいか。	サーバ室内の空調設備については、当院にて更新を行う。
25	その他	以下の用途で、開発室とは別のスペースをそれぞれ借用することは可能か。 ・端末及びプリンタなどの機器保管 （デスクトップPC:59台、液晶ディスプレイ:59台、A4プリンタ:31台、A3カラープリンタ:3台、A4カラーキャナ:20台など。搬入日～稼働日まで。） ・端末クローニング作業 （デスクトップPC10台程度を同時に使用できるスペース。電源及び電子カルテネットワークが必要。稼働1か月前～稼働日まで） ・システム切替時の端末展開作業 （会議室などを想定。稼働3日前～稼働日まで）	限られたスペースではあるが、可能な範囲で調整する。（プロジェクト開始後の、できるだけ早いタイミングにおいて調整することとしたい。）